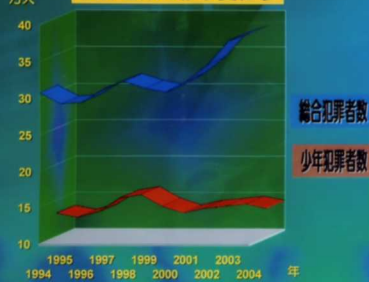




少子化による 少年犯罪への影響

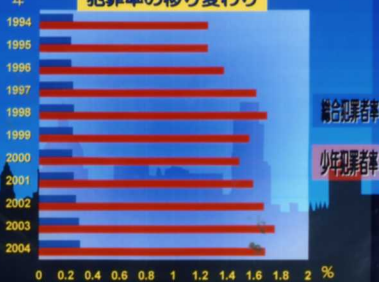


犯罪者数の移り変わり



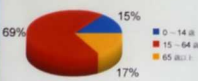
総合犯罪者数は年々上がっているが、少年犯罪者数は横ばいだ。

犯罪率の移り変わり

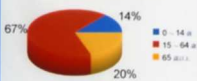


犯罪者数のグラフと比べると少年と総合が逆転している。少年の方が犯罪率が高いのは少子化により、子供が減っているからと思われる。

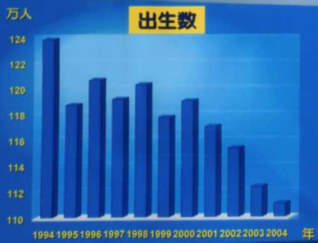
人口の内訳 1999年



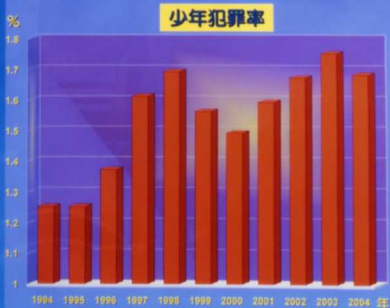
人口の内訳 2004年



出生数



少年犯罪率



上のグラフは出生数である。これが年々下がっていることから少子化が進んでいるということがわかる。また出生数は右肩下がり、少年犯罪率は右肩上がりとなっており、形は少し違うが向きが逆になっている。このことから少子化により少年犯罪率が上がっているという可能性があるのではないか。そうだとすると、少子化を止めることで少年犯罪を減らすことができるのではないだろうか。